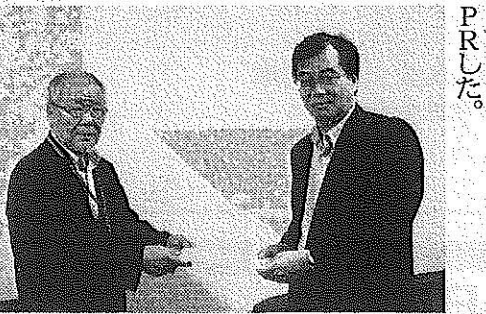


木質床材の採用要望

フローリング協会が

国、団体を表敬訪問

フローリング協会（外瀬泰宏会長）は6月28日、国土交通、文部科学、経済産業の各省と、関東地方1都3県の市役所や区役所5カ所、全国建設室内工事協会を表敬訪問した。日本フローリング工業会と合同で訪問し、フローリングの利用促進や官庁工事での木質系床材の採用などを要望するとともに、協会の活動をPRした。



中央官庁には小黒会長など幹部が訪問。国交省では佐々木基土地・建設産業局長や井上俊之住宅局長らと懇談し、要望書を手渡した。写真。フローリング工事業界の職人や資材不足の状況を説明したほか、発注時期の平準化などを要望した。

外瀬会長は佐々木局長との懇談の中で、学校や体育館など官庁工事での事業拡大に意欲を示した上で「経年劣化などで事故が起きる可能性もあるので、業界としてもメンテナンスの診断を考えたい」と維持管理にも注力する考えを表明し、指導を求めた。